



山口地方裁判所における 裁判員経験者の意見交換会開催概要 (令和6年11月25日(月)実施)

2人の裁判員経験者にお越しいただき、裁判官、検察官、弁護士を交えて、御感想や審理の分かりやすさ、これから裁判員になる方へのメッセージなどを伺いました。



裁判員裁判に参加した感想

【Aさん】意見を言うとき不安だったけど、裁判長が一人の意見として取り上げてくれてとても嬉しかった。

【Bさん】堅いイメージがあったけど、いろんな意見が出て興味深かったし、裁判を身近に感じることができた。

裁判員の選任手続きについて

【Aさん】通知が届いたとき、宝くじに当たったかのように感じた。不安もあったけど、他の方の顔を見たらやっていけそうだなと思った。

【Bさん】会社に裁判員休暇の制度があるため、会社に迷惑をかけることなく参加することができた。

証拠調べ(証拠書類・証人尋問)について

【Aさん】専門用語が全体的に難しく、なかなか理解できなかった。

【Bさん】証拠物を見るだけでなく、実際に触れて感触を確かめる機会もあったので驚いた。写真で見ただけでなく、実際に見た方が意見も出やすいと思う。

検察官や弁護人の主張(冒頭陳述・論告・弁論)について

【Aさん】一つ一つの用語が難しいということもあり、書面を家に持ち帰って読み込むことができればありがたかった。

【Bさん】検察官提出の書面で重要部分が色を変えられていたり、要点がしっかりまとめられていたので良かった。

「評議」について

【Aさん】他の方からのフォローや助言もあり、自分なりの意見を言うことができたと思う。

【Bさん】議論を始める前に裁判官から場が温まるような前説があったため、話しやすかった。

これから裁判員になる方へのメッセージ

【Aさん】なかなか経験できることではないので、選ばれた方には「おめでとう、頑張ってください」とお伝えしたい。

【Bさん】裁判への興味も深まるので、1回は裁判員をやった方がいいということをお伝えしたい。

司会裁判官からひとこと

多数の御意見・御感想をいただきまして、ありがとうございました。裁判所としても、今回いただいた御意見を踏まえた上で、より良い裁判員裁判を実現するために、引き続き努力していきたいと思います。

